



社協は地域福祉
(助け合いの地域づくり)に
取り組む団体です!



にいみ

第108号

令和5年1月発行

社協だより

発行：社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷640番地の1 TEL(0867)72-7306 FAX(0867)71-2088
E-mail:syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp URL:http://www.shakyo-niimi.jp



ピオーラちゃん

あったかご飯とやさしい絆で



心はずむ一年に!



ぴおーらキッチン

誰もが立ち寄ることができる、地域食堂とふれあいの場をつくることで、人と人がつながり、暮らしの不安を和らげ、年末年始を安心して過ごしてもらうことを目的として「ぴおーらキッチン」を開催しました。

(詳しくは3ページ)



新年のご挨拶

新見市社会福祉協議会

会長 逸見 孝明



あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、新たな気持ちで希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の事業・活動に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、新型コロナウイルスの流行が始まって3回目の正月を迎えました。依然として新型コロナの収束には至りませんが、感染症対策を講じた上で各種行事が再開されるなど、少しずつ以前の賑わいが戻りつつあります。

市内においても、新見市の推進する地域運営組織が18地区に広がるなど、子どもから高齢者まで地域で暮らすみんなで自分たちの地域の未来について考え、より良い地域にしていこうという機運が高まっております。本会としても、地域運営組織や地区社会福祉協議会など、地域の皆さまと連携して、住民主体の支え合

い活動の充実に努めることで、コロナ禍によって制限を余儀なくされたつながりの再構築に取り組んでまいりたいと考えております。

また、コロナ禍において、各個人や家庭が抱える悩みや不安が複雑・多様化する傾向があると言われていきます。本会では、生活上のあらゆる困りごとに関する相談事業を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

本会では、基本理念である「にこにこいきいきみんなでつくろうやさしいまち」の実現に向けて役員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、幸せな一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

手話奉仕員養成講座(基礎課程)閉校式

4月から12月にかけて、ほほえみ広場にいみで、手話奉仕員養成講座(基礎課程)を計24回開催しました。

この講座は、入門課程の知識を基に相手の手話を理解し、日常会話ができるようになることを目的としており、12月4日の閉講式では受講者7名全員に修了証を交付しました。受講生からは「今後は聴こえなくて困っている方を見たら声をかけたい」「講師や受講生のおかげで楽しく学べた」などの感想がありました。





ぴおーらキッチン



12月17日に、新見市地域福祉センターで、誰もが安心して立ち寄ることができる地域食堂やふれあいの場をつくることで、人と人がつながるきっかけとなり、困りごとや暮らしへの不安な気持ちを和らげることを目的として、ぴおーらキッチンを開催しました。

ぴおーらキッチンでは、フードドライブ（食料寄付）事業で寄せられた食材を活用した「ぴおーら食堂」と喫茶や催し物を楽しめる「フリースペース」を設け、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

ぴおーら食堂



うどんとおこわ、かき揚げなどを振舞いました。

フリースペース



バルーンアートやボードゲーム、フリートークやコーヒーなどを楽しみました。

併せて同日、フードドライブ事業で寄せられた食材等を「ぴおーらBOX」として箱詰めし、市内の準要保護児童のいる世帯のうち希望者33世帯へお渡ししました。

ぴおーらキッチンの実施にあたっては新見市社会福祉法人連絡協議会、岡山県栄養士会新見支部、新見公立大学の学生有志などの皆さまに協力いただきました。

また、11月を「フードドライブ強化月間」として取り組んだところ、多数の食料のご寄付をいただきました。ご協力いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。

この活動は「岡山県生活協同組合 新型コロナウイルス感染症・生活困窮で困っている子どもと家族のための支援金」による助成などを受けて実施しました

フードドライブ活動へのご寄付を ありがとうございました

11月1日～12月16日

(敬称略・順不同)

松尾千鶴子、西森重子、山谷勝己、阿曾好秀、佐藤裕一、藤井利幸、
上山 晋、星原愛子、久岡郁代、北原 進、西田 茂、佐藤和子、
岡山県栄養士会新見支部、JAM山陽 全矢崎労働組合新見支部、
新見高校北校地、思誠地区社会福祉協議会、おかやまコープ備北エリア、
新見市社会福祉法人連絡協議会 ほか多数

ありがとうございました



地域共生のまちづくりへ 地域運営組織の設立



各地区で、新たに5つの地域運営組織が立ち上がりました。
地域運営組織は、新見市版地域共生社会の実現に向けて、
地域独自の課題解決やまちづくりに取り組む住民主体の組織で、地域の将来を担う子どもたちの意見も取り入れて設立されます。

大竹会 (哲西町大竹)

設立 令和4年8月3日

会長 佐伯 雅輝 氏

目指す将来像

「気軽に集い、
笑顔と活気あふれる地域」

未来へつなぐ蚊家 (哲多町蚊家)

設立 令和4年9月22日

会長 宮田 功 氏

目指す将来像

「世代を超えて光り輝く地域へ」

ハットリ君 (哲西町八鳥)

設立 令和4年11月26日

会長 前田 五郎 氏

目指す将来像

「ささえあえる八鳥地域」

支えあう野部の里 (哲西町大野部)

設立 令和4年12月11日

会長 中山 淳子 氏

目指す将来像

「助けあう大野部地域」

上刑部地域振興協議会 (大佐上刑部)

設立 令和4年12月16日

会長 西田 保子 氏

目指す将来像

「支え合う住みよい上刑部」



▲大野部地区設立総会の様子

新見市社協は、各組織の福祉部会などと連携して、各地区における見守り活動や支え合い活動などの充実に取り組みます。



どいみ権利擁護推進セミナー

地域で支える権利擁護

12月10日に、まなび広場にいみ小ホールで、成年後見制度の普及促進を目的として「いみ権利擁護推進セミナー」地域で支える権利擁護」を開催し、70名の参加がありました。

セミナーでは、福田啓吾司法書士事務所 福田啓吾氏による「成年後見制度の概要と市民後見人の連携」と題した講演と、津山市で市民後見人として活動している眞木留子氏による「市民後見人の活動と意義」と題した活動発表を行いました。

福田氏の講演では、成年後見制度の基礎的な内容や活用方法のほか、新見市地域福祉計画を基に、本市における権利擁護の取組等について説明がありました。また、今後、地域に成年後見制度が普及していくためには、市民後見人の活動が不可欠であると話されました。

眞木氏からは、市民後見人になるうと思っただきつけや市民後見人としてのやりがい、困った時の相談先など、実際の経験を基に具体的な事例を交えたお話がありました。

参加者からは「事例紹介が分かりやすかった」「市民後見人の活動が大変参考になった」などの感想がありました。



新見市成年後見相談センター

当センターでは、高齢者や障がい者の方等で日常生活において支援が必要な状態にもかかわらず、環境上の問題や経済的な理由等により十分な支援が受けられていない方などに対して、成年後見制度等、適切な権利擁護の支援が行われるよう各種相談に応じます。

こんな時はぜひご相談ください

例えば…

- ・預貯金の管理や解約ができない。
- ・福祉施設の入所などの契約ができない。
- ・頼れる親族がいない。
- ・消費者トラブルが怖い。
- ・成年後見制度について勉強したい。など

相談無料・秘密厳守

成年後見制度とは、裁判所が選任した後見人が、判断能力が不十分な方に代わって、契約などの法律行為や財産管理を行う制度です。



受付時間：月曜日～金曜日
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

電話 0867-72-7306

サロン・集いの場研修会

コロナ禍だけれど、正しく恐れて楽しく集おう！

11月2日、市役所南庁舎の3階の大会議室で「サロン・集いの場研修会」を開催しました。この研修会は、地域における集いの場の必要性や意義、今後の活動について考えることを目的として行い、地域のサロンや集いの場で活動している方や、集いの場を推進している地域団体の方など45名の参加がありました。

研修会ではご近所クリエイション主宰の酒井保氏による「コロナ禍で考える～地域のサロンや集いの場の意義とこれから～」と題した講話を行いました。



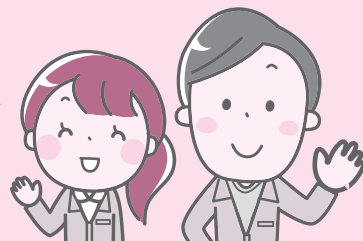
酒井氏は、地域とのつながりや一人ひとりが役割をもって活動に参加し、できないことを支え、できることを応援することが心身の健康保持に重要であると話され、参加者は、集いの場が地域や今後を担う子どもたちのためにも必要であることを再確認しました。

本会では、今後も地域の絆づくり、生きがいづくり、介護予防を目的として集いの場を推進してまいります。

福祉委員の選任をお願いします

本会では身近な地域の方の「ちょっとした変化」にいち早く気づき、民生・児童委員や行政、社協などの関係機関に連絡するなど、困りごとを発見し、解決に結びつける「地域のアンテナ役」となる福祉委員を行政地区ごとに選任しています。

今年度末で福祉委員の任期が終わる地区の総代の方に、2月中旬以降に福祉委員の選任依頼文書を送付しますので、新しい福祉委員の選任にご協力ください。



福祉委員の活動

- ・住民の生活状況や福祉課題の発見・把握（見守り・声掛け）
- ・早期対応に向けた専門機関等への連絡
- ・地域の福祉活動への参加・協力
- ・福祉意識に関する啓発活動

住民同士の見守り活動を通して、誰もが安心して暮らせる地域づくりにご協力ください！

ご寄付ありがとうございました

令和4年10月1日から令和4年11月30日までに、本会に寄せられたご寄付について報告いたします。

(敬称略・順不同)

寄せられた寄付金は各種団体助成、友愛訪問事業、ふれあいいきいきサロンなどの福祉活動に有意義に活用させていただきます。

●香典返し

- (高尾) 朝山 茂
- (亡母) 千恵子
- (千屋実) 大枝 好昭
- (亡父) 恒夫
- (新見) 井上 昇
- (亡母) 知江子
- (新見) 細田 裕子
- (亡子) 耕次
- (新見) 上 伸 優子
- (亡父) 彰二
- (新見) 柏葉 久夫
- (亡母) 久枝
- (大佐永富) 山本 隆根
- (亡母) 八重野

相談所開設のお知らせ

各種相談について、秘密は厳守いたします。

心配ごと相談

場所：新見市役所南庁舎

1月18日(水) 9:00~12:00

2月15日(水) 9:00~12:00

法律相談(要予約)

場所：新見市地域福祉センター

1月18日(水) 10:00~15:00

2月15日(水) 10:00~15:00

法律相談予約先 ☎72-7306
社協 地域福祉推進課

●一般寄付

小藤 慶喜・土井 典子
〔笑うカエル展ハガキ売上金〕



福祉車両貸出のご案内

本会では、車いすのまま搭乗できる福祉車両の貸出を行っています。使用希望の方は、☎72-7306(社協 総務課)までご連絡ください。

「利用できる方」※新見市に在住の方

- ・身体障害者手帳、療育手帳などをお持ちの方、その家族の方
- ・車いす使用者など福祉車両が必要な方の入退院、通院、その他外出等に使用される方 ※燃料代は使用者負担



他にもスライドシート対応車両などもあります。



特技を活かして働いてみませんか？

看護・介護職員募集!(パート勤務可)

臨時職員として働いていただける方を募集しています。

職種 ▶ 看護職員 (デイサービス)
介護職員 (デイサービス・ホームヘルプサービス)

資格 ▶ 看護職員の場合は看護師または准看護師
介護職員は不問 (介護福祉士等歓迎)

給与 ▶ 時給1,085円~1,185円

勤務日 ▶ 月~金曜日 8:30~17:15
のうち日数・勤務時間を協議により決定

お問い合わせ : 72-7306(社協 総務課)



傾聴ボランティア フォローアップ研修

傾聴とは、相手の話に深く耳を傾け、気持ちに寄り添い、良い関係を築くためのコミュニケーションの技法です。

本研修では、傾聴ボランティアとして活動するために必要な知識や技法を学びます。

さまざまな場面で役立つ傾聴について一緒に学んでみませんか？



日時▶ **2月9日(木)**
13:30~15:30

会場▶ 新見市地域福祉センター

内容▶ テーマ「聴き方の工夫」

講師 新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科

准教授 小松尾 京子 氏

定員▶ 25名

対象者▶ 傾聴ボランティア登録をされている方、傾聴ボランティアに興味がある方など

※傾聴ボランティアとは、ひとり暮らし高齢者等の不安や孤立感の解消のために、自宅等を訪問し、お話を聞くボランティア活動です。

※要申し込み ☎72-7306 社協 地域福祉推進課

申し込み締め切り▶ 1月31日 (火)

介護者のつどい・ くつろぎの家



日時▶ **2月18日(土) 10:00~15:00**

会場▶ 新見市地域福祉センター

内容▶ *音楽レクリエーション (音楽健康指導士 吉村 淳子氏)

*ひな人形「結び雛」の作成 (前田 眞理子氏) など

要介護家族もご参加いただける「くつろぎの家」も同時開催しますので、ぜひご参加ください。※要申し込み ☎72-7316 社協 介護保険課

1月25日(水)
13:30~15:30

場所▶ 新見市地域福祉センター

内容▶ 看護師による講話

「感染症とその予防について」など

参加費▶ 200円

申し込み不要

ピオーラカフェ 開催のお知らせ

